

高齢社会を豊かに生きる

地域をそのステージに!!

リタイアした後の20~30年



小金井で元気に! 小金井を元気に!

五十嵐京子

通信
第33号

2013年2月発行 五十嵐京子を支援する会・小金井市本町3-8-9 312 電話042-3384-9920

学ぶ



超高齢社会になり、
現在小金井市の高齢
化率も19%。定年退職

後の生活は20年以上という時代です。そして、この期間をどう過ごすかが、これからの地域の課題です。

雑学大学を運営して15年。多くの高齢者の方が自分で目標を決め、仕事とは違った新たなテーマに向き合い、コツコツと勉強されている姿を見てきました。勉強の成果を発表する場として雑学大学を活用していただいたことに感謝しています。もう一度学びなおす、という夢がかなえられる環境づくりを小金井で進めたいと思います。

まず、学ぶ拠点としての図書館を、改善する必要があります。老朽化、そして狭隘化の解消には建て替えしかありません。時代にあつたIT設備の充実、ゆつたりと本や資料を読める環境、選書の充実、軽食がとれるような設備の配置など市民ニーズに応えた図書館をぜひ小金井にも作りたいものです。

各種市民講座の充実、市民自ら活動できる施設の整備も不可欠です。



働く



シルバー人材セン
ターも地域での重要
な働き場です。体

力にあつた仕事、あるいは生活を楽しみながら時間の余裕がもてる仕事として機能の充実を図る必要があります。

ボランティア



人の役
に立ちなが
ら、自分で

もやりがいを感じられるボランティア情報を充実していく必要があります。町会や自治会など地域の仕事、様々な福祉ボランティア、防災ボランティア、花植えなど行政との協働作業としてのボランティア、自分でも楽しみながら、仲間を作れるのがボランティアです。

さらに、子どもたちを相手にして、昔の遊びを教えたり、遊びを見守ったり、スポーツを教えたりというボランティアもあ

病気



どうしても避けられ
ない様々な病には、
予防対策の充実を。

ります。
地域の活動に参加する人が多ければ多いほど、その町は豊かな町になります。地域情報の充実が欠かせません。

さらに、介護が必要になったとき、体制の強化。介護する立場の人への支援の充実。認知症サポーター制度の充実も。

そして、今の課題はかかりつけ医の確保です。高齢化社会の課題として、病院のベットが不足するだろうと言われています。最期まで尊厳をもって生きるための対策を進めます。

障害を もってしまったり



障害を抱えながらも、普通の生活を、仕事もしていける環境づくりが必要です。障害は一人ひとり違いますから、必要なサポートを必要とする人に。

福祉会館



老朽化した現在の福祉会館は、利用する市民の声を反映し、建て替えを進めます。

やすらぎのある街をめざして

